

新宮山彦ぐるーぷ第1964回

南奥駆道(玉置山く花折塚く21世紀の森)の交差点検巡視

◇実施日2018年02月18日(日) 晴

◇参加者：豊嶋 寛、川島 功、沖崎吉信、生熊敏男・千満子、

児嶋道夫、濱野兼吉、竹中卓治、高階美根子、

梶野照雄、青木宏充。 11名。

今年に入って寒波の期間が長くて雪国の被害が、連日ニュースで伝えられているが、この紀南では雪被害は稀だが山は別だ。

今朝の国道は0℃となっている、山道の凍結はどうだろうか？と新宮の集合場所に向かう。

7時30分前に沖崎車(濱野・生熊夫妻と豊嶋車(川島・児嶋)2台に分乗し、玉置口の瀬トンネル入口で高階・竹中さん2名を沖崎車に乗せる。

玉置川集落を経て本宮辻から上の道路の日陰は、約5cmの残雪があり、路面もワダチ部分は氷結しているが、冬用タイヤ装着の4WDは順調に走行し、玉置山駐車場に8時半過ぎに着くと、既に梶野・青木車が待機していた。気温はマイナス5℃らしい。



玉置山駐車場に合流・始令

本日の作業予定の説明があり、多数参加されたため2班に分れて、21世紀の森公園からの逆峰班は、沖崎・児嶋・豊嶋・梶野・高階の5名、残り6名は此処から玉置山を経て21世紀の森へ(順峰班)と縦走交差点検巡視となった。チェンソーは、各班1台ずつ又、剪定鋏と無線機を持ち各班9時前に出発。

順峰班(玉置山く21世紀の森)

チェンソーは川島さんが持ってくれたが、背負子を積み忘れたとかで手に下げる事になり玉置神社へ行きづらいと、神社から山頂へは青木・竹中・濱野氏3名が、残り3名は駐車場より玉置山山頂へ登る事になる。いつもなら背負子だけは持って来ていたが、こんな時に限って始から家に置いて来たのが、恥じ入るばかりで申し訳ない。

約5cmの残雪で踏み跡は氷結し、段差のある所は滑り易く慎重に登る。奥駆道・カツエ坂分岐に荷を置き、川島・生熊千は山頂へ。分岐に戻り神社参拝組が合流する間に、チェンソーを試運転してみると、始動したが燃料タンク内が空に近い。

カツエ坂分岐で青木・竹中さんと合流し、補充ガソリン等を持っていく濱野氏が遅れているのか、しばらく待つが着かない。青木・竹中さんを待機させて先へと進む。



出発！

駐車場より玉置山へ

玉置山山頂にて

空を見れば青天だが、やはり尾根は風が強く体感温度はマイナス10℃位に感じる。雑木倒木が在り、チェーンソーを始動させるが燃料切れの様で始動しない、燃料が到着するまでは倒木処理は手鋸で進む。

待機した青木・竹中さんが、濱野さんが来ないと追いついて、携帯で濱野さんに連絡すると、参道はツルツルに氷っていて、山頂へ廻らずに、神社から引き返し車道を歩いてカツエ坂に向つているとのこと。世界遺産記念碑のある林道接点で10時前に6名全員が合流し、チェーンソーに燃料を補給する。

此処から車道を少し歩き、車道下の奥駈道に入ると残雪は無く、赤松の倒木が在りチェーンソーで切除する。少し迎るとアセビの倒木が在り切除する。



カツエ坂分岐で合流

雑木倒木を鋸で切除

カツエ坂(世界遺産記念碑)

先頭の青木氏は、落枝や腐倒木を除けると共に剪定鋏で、こまめに茂って来たアセビ等の枝葉を払って進んで下さる、中でもイバラのある山帰来は、ズボン等衣服を傷めるので気を付けて処理していかなければと言って作業されている。

支障になる杉斜木を2本切除し、花折塚で小休止する。案内板が新しくなっていた。



赤松倒木切除後



アセビの倒木



花折塚



腐倒木が道塞ぐ



沖崎班と交差合流(昼食)



水呑金剛碑を過ぎ、道に横たわる太い腐倒木を二人掛りで除けてから「昨年ここで昼食したね」と言っていると、逆峰班先頭の梶野さんと出会う。この場に腰を降ろし、まだ作業中で着いてない青木さんを残して、後続者が全員揃った11時半前に昼食となった。青木さん遅れて到着、ご苦労さんでした。

陽が当たっているとは言え気温が低い、風が避けられる地点が幸いし、女性陣から差入れのカステラ・干し杏等で、児嶋コーヒーが美味しいこと。

12時頃に腰を上げて、それぞれ終点に向かって歩き出す。此処からは逆峰班が点検整備済なので、川島さん手持ちのチェンソーは、林道近くの奥駆道に置いて、玉置山駐車場に戻る際に回収すると言う。

稚児ノ森を過ぎ、蜘蛛の口を過ぎると如意宝珠岳への、やや急な登り坂である。山頂に立つと児嶋さんの標識が設置されている。足の早い青木さんは、居ないが5名は小休止する。



稚児ノ森石祠



蜘蛛ノ口(岩ノ口)



如意宝珠岳(千眺之森)



古屋宿跡



21世紀の森への分岐



延長林道から山道へ

古屋宿跡を越え、21世紀の森への分岐から下ると、直ぐ近くまで林道が延びていた。林道途中から道標に導かれ、これまでの

山道に入り、登山口標識地点で林道に降りて、21世紀の森東屋へ13時20分に到着。水場の支谷は、前面結氷していた。



林道からの登山口道標



水場の支谷が結氷



東屋に無事下山

鍵の預かった沖崎車を運転して、所々残雪が氷結した車道を辿り、玉置山駐車場へ14時頃に戻る。

逆峰班は、未だ到着していないので無線連絡を取ると「カツエ坂手前との事」時間の節約もあり、カツエ坂の道路接点まで沖崎車で迎えに行く。逆峰班の皆さんは10分程でカツエ坂に到着され、再び駐車場に戻る。

帰り支度後、今日営業していた売店で全員コーヒータイム、売店叔父さんの玉置神社近況話に華が咲いた所で店を出て、記念撮影後、大阪組と別れてそれぞれ解散となった。

行動タイム

新宮7:25→8:35玉置山駐車場8:55→9:15玉置山山頂→9:25カツエ坂分岐9:35→9:55カツエ坂(世界遺産記念碑)10:00→10:30花折塚10:35→11:05水呑金剛碑→11:20合流(昼食)12:00→12:25稚児ノ森石祠→12:30蜘蛛ノ口(岩ノ口)→12:45如意宝珠岳(千眺之森)12:50→12:57古屋宿跡→21世紀の森への分岐13:00→13:2021世紀の森東屋13:30→14:00玉置山駐車場(解散)14:55。

(記：生熊。写真：川島)

逆峰班(21世紀の森くカツエ坂)

9時前、玉置山駐車場を沖崎車で出発。雪の量は少ないが21世紀の森登山口迄の約8kmのところどころの路面が氷っており又、下りが続くので慎重に慎重にと走行した。

9時20分玉置山を目指してスタート、尾根の奥駈道合流迄25分位だ。林道を12〜13分歩き山道に入り5〜6分登ったか？突然目の前に以前には無かった林道(作業道)が出て来た。

先行の児嶋・豊嶋のお二人は、尾根に向かって直登し、すぐ上にあつた倒木をチェーンソーで処理する作業に入っていた。

奥駈道左の標識が在るので沖崎が左方向へ進む。60〜70m先に更に奥駈道の標識があつて、村吉氏作製標識の分岐を確認し、皆さんに声をかけ合流した。

玉置山辺りから行仙にかけては、村有林が大半の様だが、村では間伐や伐採などの作業が継続的に行われており、このような作業道の新設による登山道の分断や環境が懸念される。



21世紀の森東屋に到着 登山口手前の林道

新規延長林道へ

分岐から直ぐの所に古屋宿(ふるやのしゆく)の小さな石柱がある。75靡の内、宿とされるところが18ヶ所あるが、ここは昔、平坦地で池もあつて、宿泊施設も沢山あつた所で、峰中の重要な

宿と位置づけられていたようだ。西行法師も此処に滞在した記録もあるようだ。しかし、明治22年の十津川大水害で一帯が押し流され、宿跡は跡形も無く消え失せている。

すぐ如意宝珠岳の登りにかかり、10時12分山頂に着く。ここ靡11番・如意宝珠岳(335)は、如意宝珠埋納の伝説があつて昭文社マップは如意宝珠岳となっている。又、別に千眺の森・千本森とも呼ばれたほど眺めの良い山であつたが、古屋の宿同様、十津川大水害で崩壊したと記録されていて、眺望の良さも消え失せた。

児嶋さんは、「如意宝珠岳」の銘板標識が地上に置かれており、立木に移設すると共に案内標識を新設した。



古屋宿跡碑手直し



如意宝珠岳の新標識と地上標識移設



ここ迄チェーンソー使うこともなかったが、山頂直下で雑木(径10cm位)が道を塞いでいてチェーンソーで処理した。

岩の口(蜘蛛の口)で小休止(10時40分)。その先で緑色の濃い植物帯に入る、以前から気になつていて、高階さんに名前を聞くと「ユズリハ」と言うことだ。帰ってパソコンで検索してみた。常緑高木で古名は「ユズルハ」高さ10m位までなり、雌雄異株で花は5〜6月に咲き、果実は10〜11

月に熟す。その名は、春に枝先に若葉が出たあと前年の葉がそれに譲る様に落葉することからその様子が、親が子を育てて家が代々続いて行く様に見たてて縁起物とされ、正月飾りや庭木に使われているとある。誰が命名したのか知らないが命名者、昔の人はすごい。



雑木の風倒木切除



岩の口(上葛川分岐)



稚児ノ森石祠

11時最初の奥駈道案内板のある林道へ降りる。そこから20分程で順峰班と合流し、昼食となった。



標識再設置



林道沿いの奥駈道案内板



各班合流・昼食

これから先は、順峰班が整備済であり作業もなしと思ったが、林道から奥駈道へ入ったり出たりする箇所を道標を手直した。約20ヶ所に設置されている玉岡さん作製の道標は、平成23年11月27日に玉岡・濱野・沖崎の3人が設置したもので、6年と少々経過して、かなり腐食も進み更新の必要時期となって来た。この間に、水呑金剛石碑にもたれかかっていた倒木の処理、もう一ヶ所杉斜木のチェーンソー処理を行う。



水呑金剛の倒木処理



林道から奥駈道への道標整備



花折塚にて記念撮影



道標新設





道標の整備



杉斜木を切除



世界遺産記念碑

世界遺産記念碑前で、生熊さん出迎えの車で玉置山駐車場に14時20分頃に戻った。



売店でコーヒー休憩



本日の作業参加者

行動タイム

玉置山駐車場8:55↓9:20 21世紀の森東屋↓9:35登山口石柱道
 標↓9:45 21世紀の森分岐↓9:52古屋宿跡↓10:12如意宝珠岳
 (千眺之森)10:15↓10:35蜘蛛ノ口(岩ノ口)↓10:50稚児ノ森↓
 11:20合流(昼食)12:00↓12:12水呑金剛碑↓13:15花折塚13:20
 ↓14:15カツエ坂(世界遺産記念碑)↓14:20玉置山駐車場。
 (記：沖崎。写真：梶野)